



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石栗 秀

問合せ先責任者 (役職名) 法務室長 (氏名) 草野 考弘

TEL 03-6414-5527

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	47,943	14.5	434	64.8	920	48.7	591	13.6
2022年3月期第3四半期	41,854	6.1	1,234	101.4	1,794	70.3	520	22.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 943百万円 (526.7%) 2022年3月期第3四半期 150百万円 (75.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	43.83	
2022年3月期第3四半期	37.14	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	115,245	68,209	59.2	5,054.76
2022年3月期	100,458	67,918	67.6	5,037.45

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 68,209百万円 2022年3月期 67,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				50.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	12.8	1,200	46.2	1,600	43.2	1,100	44.3	81.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	15,325,642 株	2022年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	1,831,607 株	2022年3月期	1,842,873 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	13,487,634 株	2022年3月期3Q	14,014,207 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日~2022年12月31日)におけるわが国経済は、ウィズコロナへの移行の下で、感染症対策と経済活動の両立による持ち直しが期待されておりますが、長期化するウクライナ情勢の影響等による原材料やエネルギー価格の高騰、急激な為替変動等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、消費者の低甘味嗜好や安価な輸入加糖調製品・異性化糖・高甘味度人工甘味料の増加等により砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比14.5%増の47,943百万円となりましたが、経常利益は、砂糖事業及び飼料事業の損悪化により、前年同期比48.7%減の920百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に計上した持分法適用関連会社の株式売却損675百万円の影響がなくなったため、前年同期比13.6%増の591百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、清涼飲料向け等の需要回復に加え、販売価格の上昇もあって、前年同期比15.7%増の32,392百万円となりましたが、エネルギーコストの増加等により、520百万円のセグメント損失(前年同期は382百万円のセグメント損失)となりました。

<食品事業>

食品セグメントの売上高は、オリゴ糖等食品素材の売上増加等により、前年同期比7.8%増の1,914百万円となり、セグメント利益は、販売費等のコスト削減に努めたことにより、前年同期比96.0%増の31百万円となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、販売価格の上昇により、前年同期比16.1%増の9,235百万円となりましたが、セグメント利益は、原材料価格上昇とエネルギーコスト増加の影響により、前年同期比85.2%減の113百万円となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、主にそ菜用紙筒(移植栽培用育苗鉢)の売上増加等により、前年同期比14.8%増の2,363百万円となりましたが、原材料価格の上昇の影響を受け、5百万円のセグメント損失(前年同期は16百万円のセグメント利益)となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、前年同期並の1,137百万円となり、セグメント利益は、前年同期並の727百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業は、書籍販売の減少等により売上、利益とも減少しました。

その他の事業の売上高は、前年同期比2.6%減の900百万円となり、営業利益は、前年同期比20.2%減の117百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比14,786百万円増の115,245百万円で、このうち流動資産は、主に原材料及び貯蔵品の増加により前連結会計年度末比13,482百万円増の68,434百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比1,304百万円増の46,811百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比14,496百万円増の47,036百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の増加により前連結会計年度末比14,728百万円増の37,355百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比231百万円減の9,681百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比 290 百万円増の 68,209 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023 年 3 月期の業績予想につきましては、2022 年 11 月 8 日に公表いたしました 2023 年 3 月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023 年 2 月 10 日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,160	4,423
受取手形及び売掛金	7,329	7,674
有価証券	6,000	5,000
商品及び製品	27,616	25,568
仕掛品	3,284	5,907
原材料及び貯蔵品	2,996	11,237
その他	1,571	8,629
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	54,952	68,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,362	11,471
その他(純額)	12,245	12,862
有形固定資産合計	23,607	24,333
無形固定資産		
	425	392
投資その他の資産		
投資有価証券	19,809	20,388
退職給付に係る資産	1,502	1,519
その他	162	179
貸倒引当金	△1	△2
投資その他の資産合計	21,473	22,085
固定資産合計	45,506	46,811
資産合計	100,458	115,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,749	4,413
短期借入金	14,663	20,145
未払法人税等	954	53
その他	5,259	12,743
流動負債合計	22,626	37,355
固定負債		
長期借入金	226	142
役員退職慰労引当金	24	12
退職給付に係る負債	4,499	4,335
その他	5,162	5,191
固定負債合計	9,913	9,681
負債合計	32,540	47,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,416	8,413
利益剰余金	44,934	44,851
自己株式	△3,528	△3,504
株主資本合計	58,101	58,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,367	9,752
繰延ヘッジ損益	3	△13
退職給付に係る調整累計額	446	429
その他の包括利益累計額合計	9,816	10,168
純資産合計	67,918	68,209
負債純資産合計	100,458	115,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	41,854	47,943
売上原価	31,147	37,432
売上総利益	10,706	10,511
販売費及び一般管理費		
販売費	7,233	7,809
一般管理費	2,238	2,266
販売費及び一般管理費合計	9,472	10,076
営業利益	1,234	434
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	604	609
持分法による投資利益	32	15
その他	55	60
営業外収益合計	694	685
営業外費用		
支払利息	75	78
固定資産処分損	41	84
その他	17	35
営業外費用合計	134	198
経常利益	1,794	920
特別利益		
投資有価証券売却益	0	3
固定資産売却益	3	-
役員退職慰労引当金戻入額	1	-
特別利益合計	4	3
特別損失		
固定資産処分損	55	46
関係会社株式売却損	675	-
その他	20	-
特別損失合計	751	46
税金等調整前四半期純利益	1,047	878
法人税等	526	287
四半期純利益	520	591
親会社株主に帰属する四半期純利益	520	591

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	520	591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△375	385
繰延ヘッジ損益	△2	△16
退職給付に係る調整額	8	△17
その他の包括利益合計	△370	351
四半期包括利益	150	943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150	943
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,987	1,775	7,954	2,058	1,153	40,930	923	41,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	162	21	11	14	93	303	7,163	7,467
計	28,149	1,797	7,966	2,072	1,247	41,233	8,087	49,321
セグメント利益 又は損失(△)	△382	16	768	16	714	1,133	147	1,280

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,133
「その他」の区分の利益又は損失(△)	147
セグメント間取引消去	△46
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,234

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	32,392	1,914	9,235	2,363	1,137	47,043	900	47,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	180	24	11	4	93	313	10,894	11,208
計	32,573	1,938	9,246	2,367	1,231	47,357	11,794	59,152
セグメント利益 又は損失(△)	△520	31	113	△5	727	346	117	463

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	346
「その他」の区分の利益又は損失(△)	117
セグメント間取引消去	△30
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	434